

2015.12.19(土) → 2016.3.21(月・祝)

開館時間:10:00~18:00(最終入館は17:30まで)

休館日:毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館し、翌平日休館)、
年末年始(2015年12月28日~2016年1月4日)

観覧料:一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

* 障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき、1名)は無料。
証明書をご提示のうえ、お申し出ください。*()内は20名以上の団体料金 *小・中学生は土、日、祝・休日は無料

清川泰次の 生活デザイン



テーブルウェアのための試作品
撮影:S&T PHOTO



《Painting No.190-91》1991年

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL:03-3416-1202 <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>
[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

清川泰次の生活デザイン

具体的な形象から離れて抽象的な表現を追い求め続けた清川泰次(1919-2000)。その創作活動は1980年代に入ると、絵画だけににとまらず、立体作品や生活デザイン全般へと拡がっていきました。

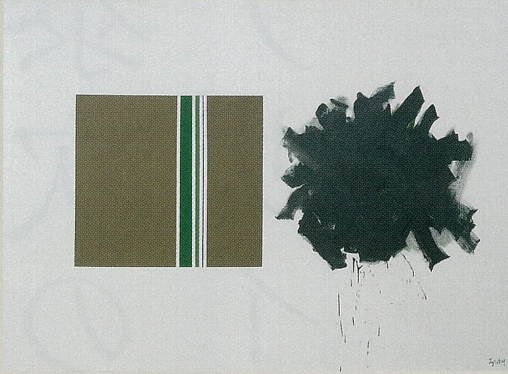
シャープな輝きの鏡面仕上げのステンレス素材で制作された清川の立体作品は、真っ白に塗られたカンヴァスの上に引かれた線が、3次元の空間へと画面から飛び出したかのようにも見えます。立体となった線は、画面という制約を離れ、空間の中を自由に動くことができます。

一方、清川の絵画に見られるリズムカルな線と色によるシンプルな構成は、ハンカチをはじめ、カーテンやカーペットといったインテリアファブリックまで、様々なテキスタイルデザインに応用されました。また、清川は、グラスやカップ&ソーサーなどの食器のデザインも手がけました。こうした工業製品として量産されるテーブルウェアのほか、なかには、益子や、有田などの現地の窯へ赴き、自ら絵付けをして制作したものもあります。これらの制作について清川は次のように語っています。「陶芸の愉しみは、焼き上げて15%程小さくなって窯から出て来るものが、思い通りの釉薬の色に仕上がって、その器の中に斬新なバランスの中におさまっているかを、わくわくする思いで見るところ。」陶芸のもつスリリングな特性は、清川に絵画表現では体験できない愉しみをもたらしました。

本展は、暮らしを豊かにするために、日常生活のあらゆる場面に自らの美意識を反映させ、多岐にわたる創作活動を展開した清川の1980年代以降の作品を中心に紹介します。絵画や立体作品約15点に加え、清川がプロデュースしたオリジナルデザインによる各種グッズや、自ら絵付けをした陶磁器などもご紹介します。



《Stainless Object NIJI No.3191》1991年 撮影:上野則宏



《Painting No.198》1997年



《Painting No.2182-3》1983年



清川泰次のデザインによるグラスほか

撮影:S&T PHOTO

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

清川泰次記念ギャラリーは成城の閑静な住宅街にあります。芝生が広がり、草花が咲く明るい庭と温かみのあるモダンな建築は、清川泰次のアトリエ兼住居を一部改装したもので、2003年に世田谷美術館の分館として開館しました。当館では清川泰次の作品を紹介するとともに、区民ギャラリーを併設し、区民の方々の創作活動を発表する場として、週単位でご利用いただいています。(展示予定はホームページをご覧ください)



©宮本和義

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL:03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分



世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
 TEL:03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

2015年12月7日(月)~2016年2月5日(金)は
 改修工事のため休館いたします。

◆ 向井潤吉 西日本紀行
 2016年2月6日(土)~3月21日(月・祝)



©宮本和義

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
 TEL:03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

◆ 画家と写真家のみた戦争——宮本三郎、久永強、向井潤吉、師岡宏次
 2015年12月19日(土)~2016年3月21日(月・祝)



©宮本和義

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
 TEL:03-3415-6011(代表)
 [展覧会のご案内] TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル)
<http://www.setagayamuseum.or.jp/>
 * 詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催

企画展

- ◆ スペインの彫刻家フリオ・ゴンサレス——ピカソに鉄彫刻を教えた男 | 2015年11月28日(土)~2016年1月31日(日)
- ◆ ファッション史の愉しみ——石山彰ブック・コレクションより—— | 2016年2月13日(土)~4月10日(日)

ミュージアム コレクションⅢ

- ◆ 〈それぞれのふたり〉シリーズ「小泉淳作と小林敬生」 | 2015年12月20日(日)~2016年3月27日(日)